

コロナ禍の間、レーズン派フルート・デュオのコンサートは休止しておりました。その間、長く我々のゲストヴァイオリニストであった David Niwa 氏が逝去され、ジュリアード音楽院で育まれた彼の情熱的な演奏との共演が叶わなくなったことは深い悲しみです。

さて、この度のサロンコンサート、永田斉子氏による典雅な古楽器リュートの伴奏により17世紀初頭から20世紀初めの『ジャポニスム』の風薫る作品を取り上げます。フルートはルネッサンス改変型フラウト・トラヴェルソと、バーム式19世紀フルートの貴婦人と讃えられる Louis Lot の木管円錐型と金属円筒型を使用します。

ご予約された方の為の少人数のコンサートになります。ご来場を心よりお待ちしております。

勝俣 敬二

..... 演奏者プロフィール



フルート
陸井 鉄男

Tetsuo Kugai

東京に生まれる。立教大学在学中にフランスに留学。パリ国立音楽院に入学、R.エリッシェ、J.P.ランバル両氏に師事。更にドイツの国立エッセン・フォルクバング芸術大学にて、M.リュッターズ氏に師事。その間、チェコの『プラハの春国際コンクール』、スペインの『マリア・カナルス国際コンクール』に入選。1985年～2002年迄国際的ファゴット奏者故・田中雅仁氏、ピアニスト角聖子氏と『トリオ・カラムス』を結成。ヨーロッパ各地の音楽祭や日本国内で活発な演奏活動を展開。数多くのCD録音を行った。更に、フルートの勝俣敬二氏、ピアノの野平一郎氏によるCD『F.&K.ドップラー・フルート音楽選』（パウルス・ショップ、CDジャーナル推薦盤）は、特に師であるJ.P.ランバル氏から高く評価された。2011年、ドイツのハーゲン市や地元ライオンズクラブ主催で行った東日本大震災被災者の為のチャリティーコンサートでは中心となって活躍した。勝俣敬二氏との『レーズン派のフルート・デュオ』の活動は40年を超える。ハーゲン市立マックス・レーガー音楽院、エッセン国立フォルクバング芸術大学講師。



フルート
勝俣 敬二

Keiji Katsumata

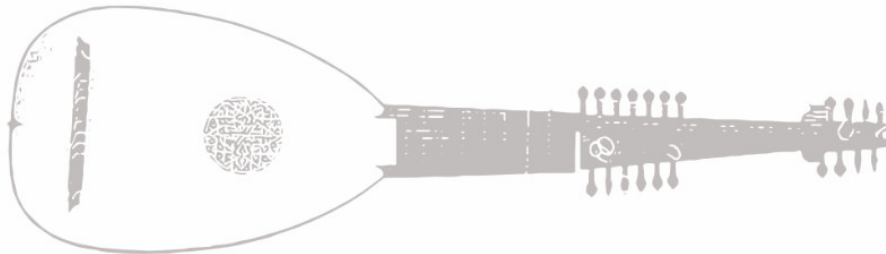
米沢市に生まれる。日本大学藝術学部を卒業。更に同大学芸術研究所を修了後、スイス政府推薦留学生となりバーゼル市立音楽大学古楽科スコラ・カントゥルムに留学。各時代の歴史的フルート、グレゴリオ聖歌を学ぶ。更にスイス音楽教育者連盟の研究生となりスイスの現代音楽、音楽教育を研鑽。芸術家ディプロムを取得。グレゴリオ聖歌に基づく旋法、調性による演奏表現論は母校日本大学藝術学部講師としても講義は高く評価された。これまで邦人作品をスイスで、スイスの現代音楽を我が国で数多く初演。レーズン派のフルート・デュオ同人。東京バッハ・カンタータアンサンブルメンバー。フルート・セミナリオ(東京)、米沢、新発田、那珂各フルート音楽研究会主宰。聖アンセルモ・グレゴリオ聖歌隊、米沢グレゴリオ聖歌隊指揮者。主なCDに『天正少年遣欧使節と400年前の音楽』、『J.B.deボワモルティエ・6つの組曲 Op.35』、『F.&K.ドップラー・フルート音楽選』、『C.フランクとG.フォーレの芸術』がある。現在、国内とヨーロッパで演奏活動中。



アーチリュート
永田 斉子

Seiko Nagata

長崎に生まれる。国際基督教大学、フランス国立ストラスブール音楽院リュート科卒業。音楽学を金澤正剛、リュートを今村泰典、B.フィーハン、左近径介の各氏に師事。ルネッサンスからバロック時代の各種リュートとギターを弾き分けながら、ソリスト、通奏低音奏者として活動中。リュートを中心としたサロンコンサートを企画・運営するルミエールプロジェクトを主宰。リュートの魅力を広く発信するため、朗読者との共演で朗読音楽会「ロバのおうじ」（リュートを弾くロバの物語）を全国各地で公演、その回数は100回を超える。幕末に中国から伝来し明治時代に流行した楽器「月琴」の奏者でもある。seikonagata.com



Il Seminario di Flauto フルート・セミナリオの教室と講座のご案内

入門から専門家まで
どなたでもどうぞ！

<コース>

- ・フルート
- ・バロックフルート
- ・ルネッサンス他 古楽フルート
- ・室内楽
- ・グレゴリオ聖歌

講師 勝俣 敬二

風のセミナリオ

🔍 検索

<お問合せ>

☎ 090-8584-0400

✉ flauto-seminario@docomo.ne.jp ▶

